

海や川を知って水難事故を防ごう ～7・8月は水難事故防止強化月間です！～

もうすぐ多くの人が海や川を楽しむ季節がやってきます。水遊びや釣り等、様々な楽しみ方がありますが、海や川には危険も多く、注意が必要です。

警察庁によると、令和2年7・8月の水難事故は、**全国で504件発生し、水難者が616人、死者・行方不明者は262人**でした。**県内では26件発生し、水難者28人中9人が命を落としました。**

海や川の怖さを知り、安全対策を万全にして、海や川を楽しみましょう！

こんなところでは、遊ばないでください！

- ・ひとけのないところ
- ・けがをしても誰にも気付いてもらえません。
- ・海底や川底の見えないところ
- ・急に深いところがあります。
- ・草の生い茂っているところ
- ・急に海や川に落ちることがあります。
- ・大きな岩のそば
- ・足もとを踏み外すと大けがにつながります。
- ・橋の近く
- ・流れが渦巻いていて危険です。
- ・遊泳禁止等の表示がされたところ
- ・危険な場所です。



的確な判断をしましょう！



風雨、落雷等の天候が悪い場合や上流で雨が降っている時などは、海や川で遊ばないようにしましょう。



体調管理は必須です！



体調が悪い時や飲酒した時などは、海や川に入らないようにしましょう。また、自分の体力や技術を過信しないようにしましょう。



ライフジャケットを着用しましょう！

釣りや魚とり中にも事故は発生します。落水した場合に備え、体に合ったライフジャケットを正しく着用しましょう。



子どもから目を離さないでください！



子どもだけでは水遊び等をさせず、危険な場所に行かないよう、繰り返し声をかけましょう。

参考資料：「令和2年夏期における水難の概況」（警察庁生活安全局生活安全企画課）



溺れている人を見たら「119番」か「118番」してください！！



※「118番」は海上保安庁の海上における事件・事故の緊急通報用電話番号です。

中部防災だより NO.8

令和3年
夏号

編集・発行
静岡県中部地域局
藤枝市瀬戸新屋 362-1
藤枝総合庁舎本館2階
TEL 054-644-9104
Mail chubu-kiki@pref.shizuoka.lg.jp



ピックアップ

- 「避難勧告」が廃止 『避難指示』に一本化
- 風水害に備え地域で、職場で、家庭で、マイ・タイムラインをつくりましょう
- 海や川を知って水難事故を防ごう

「避難勧告」が廃止 『避難指示』に一本化

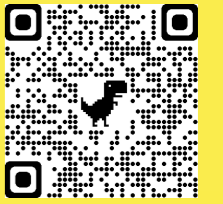
国は、災害対策基本法を改正し、以下のように避難情報を改善しました。（5月20日施行）
「新たな避難情報」と「避難情報のポイント」を確認し、適切に避難をしましょう。

「新たな避難情報」

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	緊急安全確保※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
4	避難指示※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	高齢者等避難※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

避難情報に関するガイドラインの改定についての詳細はこちらから↓



【参考資料】
内閣府防災情報のページ
みんなで減災
避難情報に関するガイドラインの改定(令和3年5月10日)

「避難情報のポイント」

① 避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

① 警戒レベル5はすでに災害が発生・切迫している状況です。
・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
・緊急安全確保の発令を待ってははいけません。

① 警戒レベル3は高齢者だけの情報ではありません。
・「高齢者等」は、障害のある人や避難を支援する者も含んでいます。
・高齢者以外の人、普段の行動を見合わせたり、自主的に避難するタイミングです。

① 危険な場所から警戒レベル3で(高齢者等は避難)、警戒レベル4で(全員避難)です。

① 警戒レベル4は避難指示に一本化されました。
・避難のタイミングを明確にするため、避難勧告と避難指示(緊急)は避難指示に一本化されました。

① 豪雨時の屋外避難は危険です。車の移動も控えましょう。

風水害に備え
地域で、職場で、家庭で

マイ・タイムラインをつくりましょう！



平成 30 年 7 月豪雨では、洪水や土砂災害からの逃げ遅れにより多くの方が犠牲となりました。そこで、自らの判断で避難することで自らの命を守る『マイ・タイムライン』を作成してみませんか？

マイ・タイムラインって何？

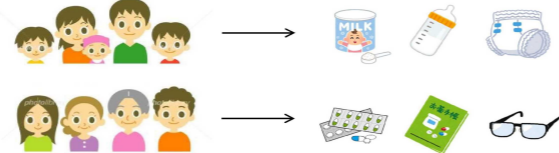
住民一人ひとりが自分で作るオリジナルの避難行動計画です！

例えば、こんなことを考えます。

- ・「台風が発生」してから「川の水が氾濫するまで」にどんな備えをしたら良いのか
- ・「いつ」、「どこへ」、「誰と」避難をしたら良いのか
- ・事前に何を準備しておいたら良いのか
- ・身近で危険な場所はどこか

など

↓ 家族構成によっても、用意が必要な物は異なります。



マイ・タイムラインを作ると・・・

① 自分や家族のリスクがわかるようになります。

- ・ 自宅周辺が浸水するのか
- ・ 避難するときに危ない箇所はどこか
- ・ 周りの地形はどのようになっているか

など

② 逃げるタイミングが整理できるようになります。

- ・ 避難するときに用意する必需品
- ・ 必要な情報の種類やその集め方
- ・ 避難を始めるタイミング
- ・ 避難先の状況

など



③ 事前に想定しておくことで、いざという時に慌てずに行動することができます。

お勧めの作り方は・・・

ワークショップ形式！！

地域住民が意見交換をしながら、ワークショップをすることでコミュニケーションの輪が広がります。また、地域のリスクが浮き彫りになることで自治会や自主防災組織等による住民避難支援（共助）の取り組みを考えるきっかけ作りになります。



ワークショップを通したマイ・タイムラインの作り方は？

【STEP 1】

住んでいるところの洪水リスクを知る

- ・ 過去の洪水は？
- ・ 最近の雨の降り方と傾向は？
- ・ 近くの川が氾濫したらどうなる？

【STEP 2】

洪水時に得られる情報について知る タイムラインの考え方を知る

- ・ 洪水時に得られる情報とその意味は？
- ・ 洪水時の自らの行動を予想しよう

【STEP 3】

マイタイムラインの作成

- ・ 防災行動を時系列にまとめよう
- ・ 自分はいつ、どんな行動をする？

少しだけ試してみよう！！

※【STEP 2】で行う作業の一部です

左列のア～カは、台風が発生してから避難を完了するまでに最低限やっておかなければならない備えです。

Q：順番はバラバラになっています。「ア～カ」を適切と思う順番に並び替え、右の図の□に記入しましょう。

※ 正解は1つではありませんが、順番の一例は、静岡県HP「マイ・タイムライン作成シート」に掲載してあります。

静岡県 マイ・タイムライン

【STEP 2】で整理したことを踏まえて、【STEP 3】では、マイ・タイムラインを作成していきます。

★地域の防災リーダー・事業所の防災担当の方へ★

みんなで話し合いながら避難について考えるワークショップ全体の進め方について、『マイ・タイムラインワークショップ進め方の手引』を作成し、静岡県のホームページで公開しています。マイ・タイムライン作成シートも掲載しています。ぜひ御活用ください。

県HPはこちらから↓



「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えを考えよう！！

氾濫が発生するまでに、一つずつ備えて、命をまもろう！

「川の水が氾濫」するまでの主な備え

ア～カを並びかえてみよう！

■ どうしを線でむすぶか、□に、ア～カを記入してください。

ア. 安全なところへ移動を始める

安全なところってどこかな？

イ. 避難しやすい服装に着替える

長靴に水が入ると重たくて動きにくいよ。

ウ. 避難するときに持って行くものを準備する

持ち物をリュックに入れると両手が使えるよ。

エ. 今後の台風を調べ始める

なにを調べる？

オ. 川の水位を調べ始める

直接見に行くと危ないよ。

カ. 住んでいるところと上流の雨量を調べ始める

水は高いところから低いところへ流れてくるから、上流の雨も確認しよう。

避難完了

3日前

0時間

台風が発生

川の水が氾濫